

# 臨床検査医学

## Clinical Laboratory Medicine

教授 北島 勲 Isao Kitajima  
助教授 小方 則夫 Norio Ogata (～7月)  
助手 小澤 哲夫 Tetsuo Ozawa  
助手 岩城 有佳 Yuka Iwaki (9月～)

### ◆ 研究概要

- 1) 転写因子解析による疾患の分子病態研究.
- 2) 高次脳機能異常と脳神経エピソードイクス
- 3) 血栓症超急性期を診断する凝血分子マーカーの研究
- 4) 全身性炎症反応症候群の高精度・迅速検査法の開発

### ◆ 著 書

- 1) 北島 勲：リピッドパーオキシド (LPO). 広範囲血液・尿化学検査, 免疫学的検査【第6版】日本臨床62, p 530-532, 日本臨床社, 東京, 2004.
- 2) 田中陽子, 北島 勲：I型コラーゲンC末端テロペプチド (ICTP). 広範囲血液・尿化学検査, 免疫学的検査【第6版】日本臨床62, p 240-243, 日本臨床社, 東京, 2004.
- 3) 田中陽子, 北島 勲：I型プロコラーゲンC末端プロペプチド (PICP). 広範囲血液・化学検査, 免疫学的検査【第6版】日本臨床62, p 244-246, 日本臨床社, 東京, 2004.
- 4) 小澤哲夫, 北島 勲：モデル動物各論 血小板. 「モデル動物の作製と維持」森脇和郎他編, 286-292, エル・アイ・シー, 東京, 2004.

### ◆ 原 著

- 1) Wang J, Tokoro T, Matsui K, Higa S, Kitajima I.: Pitavastatin at low dose activates endothelial nitric oxide synthase through PI3K-Akt pathway in endothelial cells. Life Sciences (in press).
- 2) Kainuma M, Sakai S, Sekiya N, Mantani N, Ogata N, Shimada Y, Terasawa K.: The effects of a herbal medicine (Mao-to) in patients with chronic hepatitis C after injection of IFN- $\beta$ . Phytomedicine 11:5-10, 2004.
- 3) Tokoro T, Wang J, Kitajima I.: The novel HMG-CoA reductase inhibitor, Pitavastatin, induces a protective action in vascular endothelial cells through the production of nitric oxide (NO). Yakugaku Zasshi 124:121-126, 2004.

4) Katayama K., Hashimoto N., Tanaka Y., Ozawa T., Emi Y., Ikeda T., Katayama M., Nomura S., Kitajima I., Nakano T., and Imanaka T.: Identification of a novel amino acid deletion mutation and a very rare single nucleotide variant in a Japanese family with type I antithrombin deficiency. Thromb Res, (in press).

5) Tanaka Y., Ueda K., Ozawa T., Kitajima I., Okamura S., Morita M., Yokota S., and Imanaka T.: Mutation study of antithrombin: the role of disulfide bonds in the intracellular accumulation and formation of Russell body-like structures. J. Biochem, (in press).

6) 林 史朗, 藤木 明, 菅生昌高, 佐竹伊津子, 細谷孝子, 北島 勲, 井上 博：24時間ホルター心電図を用いた新しいQT時間の定量評価法. 日本心電図学会誌 24:199-207, 2004.

7) 中嶋晶子, 柴 則子, 大門良男, 北島 勲：血中脳性Na利尿ペプチド (BNP) の病院検査室導入にむけて-RIA法からEIA法への転換によるルーチン化一. 日本臨床検査自動化学会誌 29:617-620, 2004.

8) 角田美鈴, 大門良男, 北島 勲, 大野雅憲, 木下良治：総蛋白・脂質回収率向上をめざした中空糸膜利用プール血清作製方法. 医学検査 53:43-46, 2004.

9) 多賀由紀子, 岩城有佳, 森田美香, 吉田郁子, 林喜代志, 中村政雄, 金森志津子, 北島 勲：富山県内14施設におけるメタロ- $\beta$ -ラクタマーゼ産生菌の検出状況. 医学検査 53:882-885, 2004.

10) 赤井卓也, 山本謙二, 飯塚秀明, 川上重彦, 柿沼宏明, 小澤哲夫：頭蓋骨早期癒合症と発達遅滞-FGFR遺伝子異常の検討一. 小児の脳神経, 29:224-228, 2004.

### ◆ 総 説

1) 北島 勲：医学部の学生教育改革. Lab. Clin. Pract., 22(1):68-76, 2004.

2) 北島 勲：富山の産学共同研究はどこまで進んでいるか. -もう一つの「サーズ」-. 実業之富山4月号:38-40, 2004.

3) 北島 勲：転写因子と炎症. 臨床検査 48(3):315-325, 2004.

4) 北島 勲：シグナル伝達系異常と疾患. 臨床化学 33:163-176, 2004.

5) 北島 勲：シグナル伝達病としての血栓症. 血管医学 5(2):19-28, 2004.

- 6) 北島 勲：高感度CRPによる腰椎椎間板ヘルニアの評価。Medical Practice 21(11):1923, 2004.
  - 7) 所 崇, 北島 勲：サイトカイン。臨床検査47(13):1687-1692, 2003.
  - 8) 山口桂司, 北島 勲：トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)。血栓症検査ガイドブック。血栓と循環 12(4):76-79, 2004.
  - 9) 山口桂司, 北島 勲：FDP, FgDP, FDP-E。血栓症検査ガイドブック。血栓と循環 12(4):101-104, 2004.
- ◆ 学会発表
- 1) Kitajima I.: Upregulation of Toll-like receptor 2 gene expression in macrophage response to high concentration of lipopolysaccharide is involved in NF-kappa B activation. Keystone symposia NF-kappa B: Biology and Pathology, 2004, Jan 19, Solt Lake City, USA.
  - 2) Tokoro T, Kitajima I.: Behavioral analyses and molecular pathogenesis of ATRX mutant mice. Cardiovascular Research Center/MGH Kenneth D. Boch's Lab Meeting, 2004, 10, 25.
  - 3) 北島 勲：宇宙医学, 研究の進め方。スーパーサイエンスハイスクール (SSH)。北陸地区交流会, 2004, 2, 富山。
  - 4) 北島 勲：肺血栓塞栓症と凝血マーカー。ON Oスプリングフォーラムin山形。2004, 2, 山形。
  - 5) 北島 勲：ナノテクノロジーを活用した21世紀型臨床検査構築。平成15年厚生労働科学研究：ナノメデシンフォーラムNMF2003 (Ⅲ), ナノマイクロイメージングの医療応用。2004, 3, 東京。
  - 6) 北島 勲：独立行政法人化における大学病院検査部。平成16年度全国検査技師会大会。2004, 5, 富山。
  - 7) 北島 勲：遺伝子情報を組み込んだ21世紀型臨床検査の構築。第53回日本医学検査学会。2004, 5, 富山。
  - 8) 北島 勲：ロコモーションサイエンスとの歩み。近畿鶴陵会総会, 2004, 6, 大阪。
  - 9) 北島 勲：病院検査部を利用したクリニカル・クラークシップの意義。静脈採血実習と臨床検査技師との交流を中心に。第36回日本医学教育学会大会。2004, 7, 高知。
  - 10) 北島 勲：独立行政法人化を迎え打つ大学病院検査部。第23回日本臨床化学会夏期セミナー。2004, 7, 鹿児島。
  - 11) 北島 勲：病院検査部を活用した卒前・卒後検査教育のあり方。第23回日本臨床化学会夏期セミナー。2004, 7, 鹿児島。
  - 12) 北島 勲：血栓急性期診断に対応できるフィブリンモノマー複合体のPOCT導入に向けて。第51回日本臨床検査医学会総会イブニングセミナー。2004, 9, 東京。
  - 13) 北島 勲：独立行政法人下における21世紀対応型検査部にむけて。北海道大学附属病院検査部セミナー。2004, 11, 札幌。
  - 14) 北島 勲：富山医科薬科大学病院におけるNST立ち上げと今後の展望：病院検査部の立場から。第2回北海道大学NST講演会。2004, 11, 札幌。
  - 15) 北島 勲：関節リウマチに薬効を示す和漢薬の転写因子活性調節機構解明。平成15年度和漢薬・バイオテクノロジー研究成果発表会。2004, 12, 富山。
  - 16) 北島 勲：血栓形成急性期を反映する凝血分子マーカーを探る。第7回日本栓子検出と治療学会大会。2004, 12, 横浜。
  - 17) 野手良剛, 岩城有佳, 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 大門良男, 小澤哲夫, 田中大祐, 磯部順子, 北島 勲：RS-PCR法を用いた血液・輸液製剤汚染検出法の基礎的検討。第43回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2004, 3, 津。
  - 18) 田中幸, 小澤哲夫, 横田貞記, 今中常雄：変異型アンチトロンビン (C95R) 蓄積によるラッセルボディ様構造の形成機構の解析。第77回日本生化学会大会, 2004, 10, 横浜。
  - 19) 橋本なつ子, 小澤哲夫, 片山 鑑, 田中 幸, 今中常雄：新規変異型アンチトロンビン ( $\Delta$ Met 103) の細胞内輸送障害—細胞内分解機構。第77回日本生化学会大会, 2004, 10, 横浜。
  - 20) 所 崇, 谷 忠人, 北島 勲：関節リウマチに薬効を示す漢方方剤の探索と転写因子活性調節機能の解明。第21回和漢医薬学会大会。2004, 8, 富山。
  - 21) 比嘉 進, 所 崇, 蓮井康嗣, 武田和彦, 吉田智一, 山形浩一, 北島 勲：転写因子活性化測定による全身性炎症反応症候群に対するPOCT対応型高感度・迅速検査法開発。第51回日本臨床検査医学会総会。2004, 9, 東京。
  - 22) 比嘉 進, 所 崇, 王菊 勇, 北島 勲：病院検査室で活用できる転写因子測定法の検討。RIを用いたゲルシフトアッセイ法とビオチン化DNAプローブ・抗体を組み合わせたELISA法との検討。第15回日本臨床化学会東海・北陸地区支部総

- 会. 2004, 9, 富山.
- 23) 上野智浩, 川島猛志, 柴 則子, 谷みね子, 桑原卓美, 奥田忠行, 大門良男, 北島 勲: 電子カルテシステムに対応した検査情報システムの更新と構築について. 第51回日本臨床検査医学会総会. 2004, 9, 東京.
- 24) 桑原卓美, 上野智浩, 川島猛志, 柴 則子, 谷みね子, 桑原卓美, 奥田忠行, 大門良男, 北島 勲: 臨床側は検査部に何を求めているのか? —電子カルテ導入後のアンケート調査より—. 第51回日本臨床検査医学会総会. 2004, 9, 東京.
- 25) 所 崇, 比嘉 進, 谷 忠人, 北島 勲: 関節リウマチに薬効を示す漢方薬の転写因子NF- $\kappa$ B 活性調節機構. 第15回日本臨床化学会東海北陸支部総会. 2004, 9, 富山.
- 26) Matsui K, Tsukada K, Sugimori K, Tokoro T, Higa S, Kitajima I: Ets gene PEA3 cooperates with c-jun in regulation of HER2/neutranscription. 第27回日本分子生物学会年会. 2004, 12, 神戸.
- 27) 奥田忠行, 上野智浩, 桑原卓美, 大門良男, 北島 勲: 血圧変動スペクトル解析 (仰臥位) における日内変動の検討. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 28) 奥田忠行, 吉田 稔, 吉田 豊, 三日市恵子, 高森好世江, 北島 勲: 血液ガスコントロールサーベイに標準物質を使用した10年間の推移 (富山県). 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 29) 野手良剛, 岩城有佳, 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: RS-PCR法によるMRSA型別法の有用性. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 30) 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 岩城有佳, 野手良剛, 大門良男, 北島 勲: 過去10年間における血液培養の検出状況. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 31) 柴 則子, 森田未香, 上野智浩, 延野真弓, 中島晶子, 大門良男, 北島 勲: アデポネクチン測定の基礎的検討とその臨床的有用性. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 32) 上野智浩, 中島晶子, 延野真弓, 柴 則子, 大門良男, 北島 勲: EIA法による血中脳性Na利尿ペプチド (BNP) 測定の基礎的検討. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 33) 延野真弓, 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主真, 安村 敏, 北島 勲: 抗Sを保有するAIHA症例での酵素3法による不規則抗体検査の比較検討. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 34) 桑原卓美, 川島猛志, 谷 みね子, 扇谷晶子, 田村なおみ, 大門良男, 北島 勲: Flow cytometryを用いた血小板-白血球凝集体測定法の基礎的検討. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 35) 坂本純子, 延野真弓, 上野智浩, 北島 勲, 泉野 潔: 全自動尿中有形成分装置UF-100WBC-H-FSC%測定によるglitter cellの検出とその臨床的有用性. 第53回日本医学検査学会総会, 2004, 5, 富山.
- 36) 中川泰三, 泉野 潔, 菅原秀徳, 上野 均, 供田文宏, 井上 博, 坂本純子, 延野真弓, 北島 勲: 腎疾患における尿中白血球の意義. 第47回日本腎臓学会学術総会 2004, 5, 栃.
- 37) 扇谷晶子, 桑原卓美, 坂本純子, 大門良男, 北島 勲: XE-2100造血前駆細胞モニタプログラムの臨床的評価. 第5回日本検査血液学会, 2004, 7, 札幌.
- 38) 奥田忠行, 大門良男, 北島 勲, 佐藤 啓, 上野智浩: 血圧変動スペクトル解析における日内変動の検討. 第51回日本臨床検査医学会総会. 2004, 9, 東京.
- 39) 坂本純子, 延野真弓, 田村なおみ, 上野智浩, 北島 勲, 泉野 潔: 腎疾患における全自動尿中有形成分分析装置UF-100の各パラメーターの臨床的有用性. 第36回日本臨床自動化学会総会. 2004, 9, 横浜.
- 40) 尾川智美, 谷 みね子, 川島猛志, 扇谷晶子, 田中陽子, 北島 勲: 抗体と測定法の相違によるフィブリンモノマー (FMC) 乖離検討. 第29回北陸臨床病理集談会. 2004, 9, 福井.
- 41) 田中陽子, 桑原卓美, 谷 みね子, 尾川智美, 北島 勲: 生体部分肝移植術後血栓モニターにおけるフィブリンモノマー複合体 (FMC) 測定の有用性. 第29回北陸臨床病理集談会. 2004, 9, 福井.
- 42) 吉田郁子, 多賀由紀子, 森田未香, 岩城有佳, 野手良剛, 大門良男, 田中陽子, 北島 勲, 阿部由美子: Mycobacterium abscessusによる蜂巣織炎の1例. 第29回北陸臨床病理集談会. 2004, 9, 福井.
- 43) 奥田忠行, 吉田 稔, 吉田 豊, 高森好世江, 三日市恵子, 北島 勲: 富山県における血液ガスコントロールサーベイについて. 第43回中部医学検査学会. 2004, 10, 金沢市.
- 44) 多賀由紀子, 森田未香, 吉田郁子, 岩城有佳, 野手良剛, 北島 勲, 玉川真澄, 坂田哲郎: 電子

カルテ化にともなう細菌システムの構築. 第43回中部医学検査学会. 2004, 10, 金沢.

- 45) 野手良剛, 岩城有佳, 森田未香, 多賀由紀子, 吉田郁子, 大門良男, 小澤哲夫, 北島 勲: 院内感染起因菌の分子疫学解析と薬剤耐性遺伝子の検出. 第22回日本染色体遺伝子検査学会総会. 2004, 11, 名古屋.

#### ◆ その他

- 1) 北島 勲: 転写因子NF- $\kappa$ B活性化測定DNAチップ開発によるエンドトキシンショック迅速診断. 中谷電子計測技術振興財団年報 18:28-34, 2004.
- 2) 北島 勲: 敗血症迅速診断のための転写因子NF- $\kappa$ B活性化測定用DNA-プロテインチップ開発. 平成15年度新産業創出公募事業成果報告書 平成16年3月版: 16-25, 2004.
- 3) 北島 勲: 冷えと痛みに対する和漢薬の探索. 平成15年度受託研究和漢薬・バイオテクノロジー研究研究成果報告書: 1-12, 2004.
- 4) 北島 勲: 教授就任と近況報告. 鹿児島大学医学部医師会報 24:5-6, 2004.

## 和 漢 診 療 学

### Department of Japanese Oriental Medicine.

教授 嶋田 豊 Yutaka Shimada  
助教授 古田 一史 Kazufumi Kouta  
講師 引網 宏彰 Hiroaki Hikiami  
助手 関矢 信康 Nobuyasu Sekiya  
助手 南澤 潔 Kiyoshi Minamizawa  
助手(前) 貝沼茂三郎 Mosaburo Kainuma

#### ◆ 著 書

- 1) 嶋田 豊: 腹診のピットフォール. 「漢方診療二頁の秘訣」寺澤捷年, 花輪壽彦編, 76-77, 金原出版, 東京, 2004.
- 2) 古田一史: 強皮症の皮膚硬化に対する漢方治療のポイント. 「漢方診療二頁の秘訣」寺澤捷年, 花輪壽彦編, 186-187, 金原出版, 東京, 2004.

#### ◆ 原 著

- 1) Kogure T., Mantani N., Sakai S., Shimada Y., Tamura J., Terasawa K.: Natural killer cytolytic activity is associated with the expression of killer cell immunoglobulin-like receptors on peripheral lymphocytes in human. *Mediat. Inflamm.*, 12:117-21, 2003. (前年未掲載)
- 2) Kainuma M., Sakai S., Sekiya N., Mantani N., Ogata N., Shimada Y., Terasawa K.: The effects of a herbal medicine (Mao-to) in patients with chronic hepatitis C after injection of INF- $\beta$ . *Phytomedicine*, 11:5-10, 2004.
- 3) Goto H., Shimada Y., Sekiya N., Yang Q., Kogure T., Mantani N., Hikiami H., Shibahara N., Terasawa K.: Effects of Keishi-bukuryo-gan on vascular function and hemorheological factors in spontaneously diabetic (WBN/kob) rats. *Phytomedicine*, 11:188-195, 2004.
- 4) Shimada Y., Yokoyama K., Goto H., Sekiya N., Mantani N., Tahara E., Hikiami H., Terasawa K.: Protective effects of Keishi-bukuryo-gan and its constituent medicinal plants against nitric oxide donor-induced neuronal death in cultured cerebellar granule cell. *Phytomedicine*, 11:404-410, 2004.
- 5) Yokoyama K., Shimada Y., Hori E., Sekiya N., Goto H., Sakakibara I., Nishijo H., Terasawa K.: Protective effects of Choto-san